

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	027 文書等の收受・集配事業									
予算科目	01-020101-12 通信運搬に要する経費					担当部課 係名	総務部すぐ対応室			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	つくば市行政文書管理規程					SDGs	08働きがいも経済成長も			
							11住み続けられるまちづくりを			
							12つくる責任つかう責任			

事業の概要

対象	市民、職員									
目的	市へ届いた郵便物等の適正な收受及び各課への迅速かつ確実な配布を目的とする。 各課から発送される郵便物の請求を一括処理することにより、郵便料金の把握及び経費削減を図る。									
概要 (取組内容)	市へ届いた郵便物及びメール便を到達日で適正に收受し、本庁舎文書集配室内各部ボックスへ配布する。 本庁舎と各窓口センターとの間を1日1回巡回し、文書集配を行う。 (2023年12月よりつくば駅前市民窓口センターが開設) 予算を保有する課へ支出伝票の作成を依頼する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	13,721	14,957	17,657	17,860	17,860	
	決算額	(千円)	13,071	16,647	13,264	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	13,071	12,082	13,264	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	4,565	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,949	10,334	6,992	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.50	1.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	47.00	48.50	35.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		通数の多い特殊扱い郵便物の対応について、自課で対応するよう総務課と協議を行った。また、昨年度同様、総務費計上分の料金後納郵便料について、上限額を超えそうな部署に対し、自課予算での計上を促した。
成果		郵便により市に到着した文書の仕分け、特殊郵便物の收受及び配布を適正に行うことができた。また、郵便料金計器の導入により、作業効率が上がってきている。
課題	業務	年々各窓口センター宛の集配物が増えている、その集配物の中に、文書以外のパンフレット、チラシ等が多く見受けられ、集配業務に困難をきたしている。
	組織、予算等	来年度、郵便料金の値上げが予定されているため、通信運搬費の予算不足が予測される。
改善目標		各窓口センターへの集配物について、文書以外のパンフレット、チラシ等については、集配物には入れないよう周知する。また、郵便料金値上げによる、通信運搬費の予算不足については、郵便料金の値上げの金額及び時期が分かり次第、各課に郵便料金の調査を行い、補正予算により予算を確保する。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	－	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	037 スズメバチ駆除業務委託事業									
予算科目	01-020101-17					すぐ対応室に要する経費		担当部課	総務部すぐ対応室	
市長公約								係名		
戦略プラン								新規・継続	継続	
								事業分類	自治事務（任意）	
								事業体制	全て委託	
個別計画	スズメバチ営巣駆除							事業期間	毎年度	
根拠法令等	特になし							SDGs	08働きがいも経済成長も	
									11住み続けられるまちづくりを	
									12つくる責任つかう責任	

事業の概要

対象	市民
目的	ハチの営巣を駆除することにより、市民の安心安全（アナフィラキシーショックの防止、抑止等）を確保し、生活環境の向上に寄与する。
概要 （取組内容）	市民からのハチの営巣の駆除依頼に対し、ハチ駆除業者に委託し駆除を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	6,267	10,017	9,907	10,395	10,395	
	決算額	(千円)	5,312	6,563	6,237	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	5,312	6,563	6,237	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	6,834	10,215	6,907	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.50	1.00	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページでの情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	ホームページの情報発信
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	スズメバチの巣の駆除委託 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	499.0	835.0	550.0	881.0	817.0	0.0
	指標の概要	R02年度はすべてのハチの営巣駆除件数。R03年度はスズメバチと通学路等の特に危険性の高い場所のアシナガバチの営巣駆除件数、R04年度からはスズメバチとアシナガバチの営巣駆除数。					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		6月から10月にかけての繁忙期のハチ駆除業務量は多かったが、今年度はほかの業務への支障は少なかった。また、ハチ駆除業務の他部署への移管については引き続き課題となる。
成果		依頼を受けたスズメバチ及びアシナガバチの営巣を駆除することにより、市民の安心安全（アナフィラキシーショックの防止等）を確保し生活環境の向上に寄与した。
課題	業務	ハチ営巣駆除について、費用が高額化しているため、駆除内容の検討が必要となる。
	組織、予算等	入札の結果、来年度のハチ駆除業務の営巣1個当たりの駆除単価及び調査費用の単価が今年度に比べ高額となるため、補正予算等による予算の確保が必要となる。
改善目標		ハチ営巣駆除については、他市町村で行っている補助金等による駆除費用の一部負担等、予算の削減について検討する。また、来年度の予算の確保については、9月議会の補正予算等により予算を確保する。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	3	民間活力や民間ノウハウを活用できる事業である。
優先度	2	事務事業の統合、縮小を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－